

＜新産業の創出に向けた取組＞

<ICTの安全安心支援への活用 (庁内ベンチャー事業)>

23年度の事業実績6

庁内ベンチャー制度を活用し、平成22年度から2カ年、ICTを活用した県民の安全安心支援サービス先進モデル構築事業を実施し、少子高齢化の進展により今後さらに増加が見込まれる高齢者の見守り等のための次世代型福祉安心システムの実証用モデルを構築。その成果の実用化に向け、(地独)青森県産業技術センター工業総合研究所を中心に事業に参画した福祉やIT等の関係者の参加を得て研究会を組織し、実証等に取り組んでいる。主な成果は、以下のとおり。

■次世代型福祉安心システム実証版の開発

➤ 機能限定型アプリ版



(Androidタブレット)

➤ 機能開放型ウィジェット版



(Androidタブレット)

(Androidスマートフォン)



ペンダント型緊急通報発信機

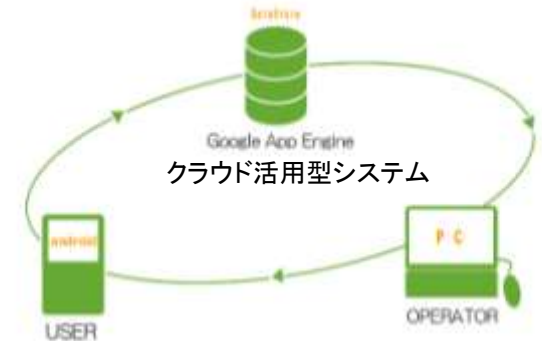


福祉安心端末化専用ケース
(機能限定型用)



タブレットスタンド
(機能開放型用)

- 特許出願 2件
- 意匠登録申請 3件
- 企業との共同研究
- 実用化研究の推進体制の確立等



次世代型福祉安心システム実証版の主な特徴10

- 1 ネットに接続すればどこからでも利用できる
- 2 市販のAndroid端末に専用アプリを設定するだけで福祉安心端末化
- 3 相手側は、市販の端末で緊急通報等の確認やビデオ通話等ができる
- 4 社会福祉協議会の福祉安心電話とも連携できる
- 5 ウィジェット版では、ニーズに応じた機能の選択、拡充ができる
- 6 専用木製ケースで端末の操作を物理的に制限できる
- 7 緊急通報ペンダントは、タブレットとスマートフォンに接続できる
- 8 緊急通報ペンダントの万歩計機能を使い、歩数を自動計測できる
- 9 クラウドを活用し、維持コストの節減と拡張性を実現
- 10 組込み、電子デバイス、木工等県内企業の技術を随所に活用

➤ 関連サイト

次世代型福祉安心システム実用化研究会 <https://sites.google.com/site/aictp003/>

あおもりの安心 ～次世代型福祉安心システムの開発と実証～ <https://sites.google.com/site/aictp007/>

あおもりICTクラウドフェスタ展示サイトAomori ICT venture project <https://sites.google.com/site/aictp002/>